



昭和大学歯学部だより

2025年1月号

通算第232号

巻頭言

<歯学部長 馬場 一美>

令和6年もあつという間に駆け抜け、令和7年、へび年の新春を迎えました。ドイツの哲学者フリードリッヒ・ニーチェは、多くの格言を残していますが、その中の一つにへびにちなんだものがありますので紙面を借りてご紹介いたします。それは「脱皮しない蛇は滅びる」というフレーズです。言うまでもなく、蛇は脱皮を通じて成長し、新しい自分を得る生物です。この格言は、人間もまた古い殻を脱ぎ捨て、成長し続けなければならないという教訓であり、「変化と適応」の重要性を象徴的に表現しています。

本学の校名も、この4月から「昭和大学」から「昭和医科大学」へと変わります。この決断の背景には、18歳人口の減少があり、医系総合大学としてのブランディング強化を目的としています。まさしく「変化と適応」の実践です。慣れ親しんだ校名を変更することは決して簡単なことではありませんが、将来を見据えたこの重要かつ大きなチャレンジを、皆で一致協力し、成功に導ければと思います。

最後になりましたが、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



大学入試共通テストが実施されました

<入試常任委員 美島 健二>

この1月18日(土)と1月19日(日)において独立行政法人、大学入試センターが実施する大学入学共通テストが行われました。歯学部においては、大学入学共通テスト利用入試の学力試験として共通テストが利用されています。大学入学共通テスト利用入試の歯学部志望の入学志願者数は昨年度と比較して増加傾向にあり、2月6日(木)に東京五反田TOCビルで実施されます面接試験にのぞみ、2月12日(水)に合格発表が行われます。

また、大学入学共通テスト当日、試験実施に参加されました教職員の皆様お疲れさまでした。

- P.1 【巻頭言】歯学部長 馬場 一美教授
【大学入試共通テストが実施されました】入試常任委員 美島 健二教授
- P.2 【CBTが実施されました】CBT統括実施責任者 鈴木 規元教授
【OSCEが実施されました】OSCE委員会 委員長 菅沼 岳史教授
- P.3 【D3学部連携チーム医療PBLⅡが実施されました】歯学教育学講座 坂井 信裕教授
【D3昭和大学附属病院病棟体験実習が行われました】歯学教育学講座 坂井 信裕教授
【ANZBMS 2024で発表しました】顎顔面口腔外科学分野 根岸 宗一郎
- P.4 【SCRIPで発表しました】歯学部5年 呉 悠
【認定医・専門医取得】 【行事予定】 【編集後記】

CBTが実施されました

<CBT統括実施責任者 鈴木 規元>

12月18日(水)に令和6年度共用試験 CBT が実施されました。共用試験は本年度から公的化されたため、我々運営側も例年以上に緊張の中での CBT となりました。また公的化による実施スケジュール変更に伴い、例年よりも1か月早い実施となりました。学生は、馬場歯学部長と船津教育委員長の激励を受けたのち、旗の台校舎4号館600号教室にて、朝9時から午後5時過ぎまで全320問の問題に取り組みました。欠席者はなく、4年生91名全員が無事受験いたしました。学生は終始緊張の面持ちでしたが、大きな混乱もなく無事試験を終了することが出来ました。機構派遣監督者の先生方からは、運営状況、感染症対策、学生の受験態度など良好とのコメントをいただきました。試験監督をはじめ、CBT 実施にあたりご協力いただいた先生方、学務課の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

OSCEが実施されました

<OSCE委員会 委員長 菅沼 岳史>

2024年度共用試験OSCEが、1月12日(日)に歯科病院において実施され、91名の学生全員が受験しました。公的化後最初のOSCEとして、前日には機構の試験室準備マニュアルに沿って滞りなく準備が行われましたが、本試験において最初の組を7分早くスタートさせてしまうというアクシデントがありました。しかしながら、スタッフの皆様の迅速な対応により、その後は大きなトラブルもなく無事終了することができました。終了後の振り返りの会で、外部評価者と機構派遣監督者からいくつか問題点の指摘がありましたが、それらについては委員会で検討し、よりスムーズで公平なOSCEが実施できるよう準備したいと思います。なお、今回からこれまで各大学独自に行っていた合否判定が機構の基準で行われるようになりましたが、91名全員が合格しました。来年度は1月11日(日)(前日準備10日(土))に実施されますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

D3学部連携チーム医療PBLⅡが実施されました

<歯学教育学講座 坂井 信裕>

2024年11月21、29日、12月3日の3日間にわたり、D3学部連携チーム医療PBLⅡが実施されました。この実習はPBLチュートリアルとして、チーム医療を実践する基盤を構築するために臨床シナリオを用いて、様々な視点から患者の情報を共有し、医療チームとして患者に適した治療プランを提示する能力を修得する演習です。累進型PBLであり、5年次の臨床実習期間に行う学部連携病棟実習へと繋がる準備教育の演習として、医療人として必要な問題解決能力を身につけます。最終日には担当教員が指導スタッフや患者家族の役割を演じるロールプレイ形式によるグループ発表を行い、グループで検討したケアプランを説明しました。最後になりましたが、本実習に関わって頂いた各学部の教員にこの場をお借りしてお礼申し上げます。



D3昭和大学附属病院病棟体験実習が行われました

＜歯学教育学講座 坂井 信裕＞

2024年10月から12月にかけてD3昭和大学附属病院病棟体験実習が行われました。この実習は5年次の学部連携病棟実習の準備実習としての位置づけでもあり、学生は1名ずつ附属病院の病棟に配属され、看護師の指導のもとで医療チームの連携および責任について学びます。実習に先立ち、昭和大学統括看護部の松木恵里看護部次長から「看護業務と病棟環境の理解」と、横浜市北部病院看護部の福岡絵美先生から「病院における感染管理上の注意」についての講義を受けました。実習日は各自1日間だけですが、トラブルもなく無事に実習は終了し、医療従事者の使命や患者やその家族との信頼関係の重要性を体感したことと思います。最後になりましたが、本実習に関わって頂きました、附属病院病棟スタッフの皆様はこの場をお借りしてお礼申し上げます。



ANZBMS 2024(オーストラリア・ニュージーランド骨代謝学会)で発表しました

＜顎顔面口腔外科学分野 根岸 宗一郎＞

第42回日本骨代謝学会学術集会にて ANZBMS 2024 Travel Award を受賞し、また ANZBMS 2024 (オーストラリア・アデレード: 11月11日)において、演題名「Role of lubricin in temporomandibular joint homeostasis」が高く評価され、Roger Melick Young Investigator Award にノミネート、Symposium にて Oral presentation を行いました。今回、国際学会での初めての口演にあたって、緊張と不安でいっぱいでしたが、準備期間も含め大変貴重な経験となりました。研究指導者である矢野先生、顎関節症モデル作成手技から解析まで教えてくださった澁坂先生へこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

また、国際学会発表や存分に研究遂行できているのは日本学術振興会特別研究員(DC2)のおかげでもあり、今後もより一層、研究に励んで参ります。



SCRPで発表しました

<歯学部5年 呉 悠>

令和6年8月6日、日本歯科医師会館で第30回スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRP) 日本代表選抜大会が開催され、私は、「Discovery of inflammatory bone formation in periodontitis model mice (マウス歯周炎モデルにおける炎症性骨形成現象の発見)」というマルチドクタープログラムの研究内容で参加しました。初めての発表が英語で大変緊張しましたが、審査員の先生方から「初めて見る現象で興味深い」「今後どのように解析を進めるのか」「今後の君の進路は？」など多くのご意見を頂けたことがとても嬉しく、将来は大学院に進学して歯科に役立つ研究をしたいという気持ちが強くなりました。最後になりましたが、ご指導くださった歯科薬理学講座の皆様には心から感謝申し上げます。



認定医・専門医取得

日本障害者歯科学会 認定医

小野 慎之介 (障害者歯科学分野 大学院4年)

中村 夏野 (障害者歯科学分野 大学院4年)

徳増 梨乃 (障害者歯科学分野 大学院4年)

行事予定

2月6日(木) 歯学部一般選抜入試(I期)・大学入学共通テスト利用入試(面接)

2月22日(土) 大学院春季Ⅱ期入試(医・歯・薬学研究科)

3月2日(日) 歯学部一般選抜入試(Ⅱ期)

3月18日(火) 卒業式・学位記伝達式

3月25日(火) 大学院春季修了式

編集後記

<口腔微生物学講座 森崎 弘史>

インフルエンザが猛威をふるっています。皆様、健康管理にはくれぐれもお気を付け下さい。年末年始のお忙しい中、ご寄稿下さいました先生方に感謝申し上げます。

昭和大学 歯学部だより 通算232号 2025年1月発行
 発行責任者：歯学部長 馬場 一美 編集責任者：広報委員会委員長 柴田 陽
 1月号編集委員：森崎 弘史(広報委員会)
 〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL：03-3784-8000
 ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp